

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		寄附講座開設事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	
	施策	15	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	
	基本事業	45	地域医療体制の充実		所属班	健康推進班	
予算科目		会計一般	款4	項1	目1	事業連番11412	
						法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 ~ 27 年度)	
						成果優先度評価結果	⑫
						コスト削減優先度評価結果	⑥
						担当名	八木美保
						課長名	鍛野文昭
						担当者名	八木美保
						(内線)	2135

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	①地域における医療提供体制の課題及び解決策 ②地域医療に従事する医師の支援 ③地域医療を担う医師の養成・確保に関する研究等を行なうため、熊本大学に地域医療に関する寄附講座が開設されるもので、平成21年度以降、県が熊本大学に寄附する2千万のうち、1千万を全市町が負担する。実施期間は、当初平成21年度～平成25年度までの5ヵ年であったが、本県の医師不足のため、事業継続が必要と言うことで、平成27年度まで延長となった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	公立病院を有する市町村(20団体)で約7割、公立病院を有しない市町村(27団体)で約3割を負担することとし、合志市は年額15万円の負担をするものである。県の請求に応じて負担金の支出をする。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	平成21年6月議会の健康福祉常任委員会の補正予算審議の場で、合志市が受ける恩恵は何かあるのかという質問があった。また、平成25年11月6日付で、県から平成27年度までの負担金の延長について、これまでの5年間で成果は見えつつあるも、継続した取り組みが必要と依頼があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
負担金の支出	負担金の支出: 15万円
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位): 予算の主な増減の理由
→	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)
地域医療体制	→
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)
地域医療体制を充実させる。	→
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	総トータルコスト全体計画～27年度
	659

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①	活動指標	ア								
		イ								
②	対象指標	ア								
		イ								
③	成果指標	ア								
		イ								
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	150	150	150	150	150		
		(A)事業費計	千円	150	150	150	150	150		
		(A)のうち指定経費	千円	150	150	150	150	150		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	1	1	0	1	0		
延べ業務時間	時間	3	5	0	10	0				
(B)人件費計	千円	12	19	0	39	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	162	169	150	189	150				

事務事業名	寄附講座開設事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 講座を開設し、地域医療への取り組みが始まっている。合志市での開業する医師も増加傾向である。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 講座開設により、地域医療の課題への取り組みが始まるため、ある程度の効果は見込める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 寄附講座の内容については、熊本大学が実施運営しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 負担金は、県の分配によるものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事務に係る時間数も最小で行なっており、これ以上の削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 医療体制の充実を図るためのものであるため、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市から県への負担金のため適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

地域医療への課題解決や地域医療に従事する医師の確保、支援を目的としている事業であるが、市町村はその負担金を支出しているのみの状況である。今後どのように地域医療への協力が得られていくかを把握評価していくかが大事と考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						